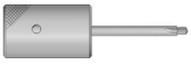


機械器具（58）整形用機械器具  
一般医療機器 歯科インプラント技工用器材 JMDNコード：70757000

## POI EX 専用研磨ツール

### 【形状・構造等及び原理等】

- 本製品は、POI EX システムの専用器具である。
- プラスチックコネクタ-R EX 又は ST EX を用いて作製された補綴物の鋳造体の適合調整（研磨）を行う際、使用される。
- サイズ等については外装の表示ラベルに記載されている。
- 形状・材質は次の通りである。

製品名	外観	用途	材質
ラッピングドライバー EX A		アクセスホール研磨用	ステンレス鋼
ラッピングドライバー EX B		フィクスチャーとの接合面研磨用	
ドライバーガイド EX		フィクスチャーとの接合面研磨用	
ポリッシングプロテクター EX	(ラボスクリュー EX)  鋳造体に取り付けた状態	フィクスチャーとの接合面保護用	

・製品は、外装に記載されている品名に対応する1種が包装されています。  
・ラボスクリュー EX は本製品に含まれていません。

### 【原理等】

- ラッピングドライバー EX A または B は、プラスチックコネクタ-R EX 又は ST EX を用いて作製された補綴物とフィクスチャーとのアクセスホールや接合面を適合調整（研磨）するため使用される。
- ラッピングドライバー EX B はドライバーガイド EX と組み合わせて使用する。
- ポリッシングプロテクター EX は、研磨の際、補綴物に装着し、フィクスチャーとの接合面を保護する。

### 【使用目的又は効果】

本製品は、歯科用インプラントの上部構造を作製するために用いる歯科技工用の器具・材料である。

### 【使用方法等】

本製品は専用器具を用いて作製された補綴物鋳造体の適合調整（研磨）を行う際、使用する。

#### 〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- 各器具の使用方法
  - ラッピングドライバー EX A の使用方法（図 1）  
鋳造体咬合面側よりアクセスホールに挿入し、抵抗がなくなるまで用手的に右回転させて内面を研磨調整する。

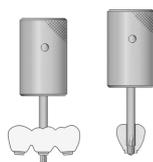


図 1

#### 2) ラッピングドライバー EX B の使用方法（図 2）

- ドライバーガイド EX を鋳造体咬合面側よりアクセスホールに挿入する。
- 鋳造体より突出したドライバーガイド EX のシャフト部とラッピングドライバー EX B を組み合わせる。
- 鋳造体より突出したドライバーガイド EX のシャフト部を軸にしてラッピングドライバー EX B を用手的に右回転させ、フィクスチャーとの接合面を研磨調整する。



図 2

#### 3) ポリッシングプロテクター EX の使用方法（図 3）

- ラッピングドライバー EX A、B により研磨調整を終えた鋳造体嵌合面にポリッシングプロテクター EX を嵌め合わせる。
- ラボスクリュー EX により固定し、適切な研磨器具を用い鋳造体を研磨する。

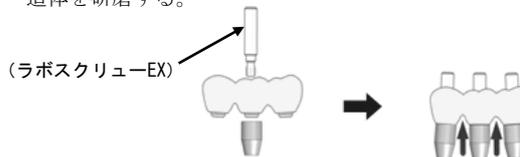


図 3

- 詳しい使用方法については、取扱説明書（POI EX マニュアル）を参照すること。
- ラッピングドライバー EX A、B は、微調整の範囲で使用すること。著しい錆肌荒れ、気泡などの鋳造欠陥が生じた鋳造体は、使用を中止すること。
- ラッピングドライバー EX B を過度に使用すると適合不良を招く場合がある。調整面の状態を見ながら少しずつ作業を進めるようにすること。
- ラッピングドライバー EX A、B の切れ味が低下してきた場合は、新しい製品と取り替えること。
- ポリッシングプロテクター EX は、研磨作業により消耗する。嵌合辺縁部に消耗が見られる場合は、新しい製品と取り替えること。
- 研磨作業中にポリッシングプロテクター EX を固定しているスクリューがゆるみ、ポリッシングプロテクター EX が鋳造体から外れる可能性がある。研磨作業においては、必ずスクリューを締め付け、ポリッシングプロテクター EX が固定されていることを確認すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### ・保管の条件

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

### 【保守・点検に係る事項】

#### 使用後の保守

- 使用後は刃部に付着した削りカスを取り除くこと。
- 水分、油脂分は拭き取っておくこと。
- 上記(1)(2)には柔らかい布や刷毛を使用すること。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

#### 製造販売業者

京セラ株式会社  
TEL：0120-923725

取扱説明書を必ずご参照ください。